

# 視聴覚教育時報

No.733 2022年 8月号

## contents

- ▽令和4年度全視連「視聴覚教育功労者」6名が決定
- ▽令和4年度 センター連絡協議会総会報告
- ▽講師派遣事業 令和4年度群馬県教育メディア指導者養成講座
- ▽令和3年度の廃棄・移管届けの提出総数の内訳について
- ▽首長協議会 「GIGA スクール対応オンライン研修会」8/29 開催
- ▽えすけーぷ

### ▽令和4年度全視連「視聴覚教育功労者」6名が決定

各都道府県・指定都市教育委員会および各加盟団体の推薦により、令和4年度第25回全国視聴覚教育連盟「視聴覚教育功労者」が、7月8日付け発信の文書選考委員会による審議の結果、地域の社会教育等における視聴覚教育の推進に功績のあった6名の方々が決定しました。

本表彰は平成10年度に開始され、本年度で25回目を数え、今回の6名の決定により総数336名の方々が授与されたこととなります。なお、表彰式は例年「視聴覚教育総合全国大会・放送教育研究会全国大会」にて執り行っていますが、令和4年11月に開催の同大会はオンライン開催となったため表彰式は執り行わないこととなりました。

#### ■青森県・坂本 徹（さかもと とおる）

平成元年、青森県総合社会教育センター学習情報課指導主事として就任。同センターの開設に伴い、センターとしての業務の確立に尽力するとともに、「北の誇り・亀ヶ岡

文化」等、郷土学習教材の研究・開発に取り組んだ。また、平成27年より同センター所長となり、映像資料の収集・保管・活用を図るとともに、同センター事業に映像ワークショップを組み込むなど、視聴覚教育の発展に貢献した。平成30年より特定非営利活動法人日本人財発掘育成協会にて専任プロデューサーとなり、作成した動画のYouTubeでの発信やショートムービーの制作等の活動を通じて、高校生の発信力・実践力育成に努めている。

#### ■埼玉県・澤登秋夫（さわと あきお）

昭和55年から公立小学校で視聴覚主任として授業にOHP等視聴覚機器を活用したり、コンピュータを活用した授業開発を先進的に取り組んだ。また、県学校視聴覚教育連盟事務局長として視聴覚ライブラリーと共催し、一般市民向け「16ミリ映写機操作講習会」や「パソコン講座」の開設に尽力した。平成29年には県視聴覚教育連絡協議会事務局長として、公

立視聴覚ライブラリーの研修の充実を図るため企画・運営に尽力した。また、県視聴覚放送研究団体連絡協議会副幹事長として「県教育メディア活用研究大会」では社会教育及び学校教育分野で視聴覚機器を活用した学習を積極的に推進し、その中心的立場で活躍した。

#### ■新潟県・吉田理江子（よしだ りえこ）

平成16年度から同28年度末までの13年間、魚沼視聴覚センターの専門員として、地域映像教材のデジタルアーカイブや動画編集、映像・音響機器のオペレータなど、地域の要請に幅広く応じ、視聴覚教材・機器の活用を推進した。同時に魚沼地域視聴覚教育協議会の事務局として、パソコンソフトや情報機器の操作講習会を企画し、講師を務めた。教材・機器の貸出管理については、予約から運送手配までを一元的に行う専用ソフトを自作し、業務を大幅に効率化した。また要請に応じて、学校教育や社会教育に資する公共性の高いソフトウェアを多数制作・提供し、退職後の現在も利用支援を続けている。

#### ■長野県・麻和正志（あさわ しょうじ）

昭和63年、公立中学校の美術教師として奉職。現在まで勤務している各小・中学校にて総合的な学習の時間を活用し、児童たちの問題解決能力の育成のため自主制作映画及び地域のテレビCMを制作して以来、現在も担任学級での映画制作を約20年間継続している。映画制作とともに保護者や地域住民に広く公開する上映会を計画運営し、学校教育のひとつの在り方を示した。平成23年、松本市教育会「映像づくり研究会」を立ち上げ、事務局を担当し現在も継続している。地域での映画上映会や児童

と福祉施設との交流事業や、広く一般市民を対象とした上映会等において作品を積極的に活用し、社会教育活動の発展に貢献した。

#### ■愛知県・坂 章昌（ばん あきまさ）

平成2年、県内公立小学校に奉職。新任時より30年間にわたって視聴覚主任を務め、視聴覚教材の開発・授業実践を進めるとともに、他教員への視聴覚機器・視聴覚教材の普及・利用指導を積極的に行ってきた。平成6年度から、知多地方視聴覚ライブラリー協議会主催の実技講習会で16ミリ映写機、ビデオ撮影・編集、PowerPoint教材・プレゼン資料作成等の講師を務めた。平成15年度からは知多地方視聴覚ライブラリーの運営委員として講習会の企画・運営に携わり、教員以外の一般の方も対象として講習会を実施した。平洲記念館増築の際は、展示映像資料の検討・製作・編集等に関わり、効果的な資料展示に貢献した。

#### ■北九州市・吉岐尾 操（いきお みさお）

北九州市AVEの会は、長きにわたって社会教育・社会福祉発展のために奉仕活動として映写ボランティア活動を継続している。同人は、平成21年6月に北九州市立視聴覚センター主催の16ミリ映写機技術講習を受講終了後、本会に入会し、本会の中心メンバーとして活躍して現在に至っている。そして、地域の母と子の会や年長者の会等で、子どもたちには大いに喜んでもらうこと、年長者には毎日が元気で楽しく過ごせることを願って、月1～2回の映写会を精力的に開催している。14年に及ぶ活動は本市の視聴覚教育の発展に寄与し、社会福祉に貢献するとともに、地域の活性化に役立っている。

---

## ▽令和4年度 センター連絡協議会総会報告

全国公立視聴覚センター連絡協議会の今年度の総会について、7月4日付文書により、7

月29日を総会指定日として下記議案について文書により審議いただき、全センターより承

認を得ました。

第1号議案 令和3年度事業報告書（案）・収  
支決算報告書（案）

第2号議案 令和4年度事業計画書（案）・収  
支予算書（案）

第3号議案 役員選任（案）

＜事業計画＞

①全国の公立視聴覚センター及び相当施設の  
事業・設備等の実態調査依頼送付（7月4日）

②全国公立視聴覚センター連絡協議会総会（文  
書総会）（7月4日）

③第26回視聴覚教育総合全国大会（全国公立  
視聴覚センター研究協議会）（令和4年 11  
月12日（土）開催）

④全国公立視聴覚センター要覧（2022年度

版）」の刊行（12月）

＜全国公立視聴覚センター連絡協議会役員＞

幹事長 村上 長彦 氏（全国視聴覚教育連  
盟専門委員長）

副幹事長 赤尾 芳伸 氏（青森県総合社会教  
育センター所長）

常任幹事 櫻井 和宏 氏（新潟県立生涯学習  
推進センター所長）

常任幹事 神子 純一 氏（千葉県総合教育セ  
ンター所長）

監 事 永瀬 淳 氏（山形県北村山視聴  
覚教育センター所長）

監 事 田村 修一 氏（仙台市教育局生涯  
学習課課長）

## ▽講師派遣事業 令和4年度 群馬県教育メディア指導者養成講座

令和4年度の全視連の講師派遣事業を活用  
して、全視連講師の立見康彦氏（群馬大学共同  
教育学部大学院教育研究科客員教授）の講演が  
標記研修会において実施されました。

1. 日時 7月27日（水）13:30～16:00
2. 主催 群馬県視聴覚ライブラリー連絡協議  
会
3. 会場 群馬県生涯学習センター
4. 参加者 県内におけるICT教育を振興す  
るための中核的な指導者12名
5. 講師 立見康彦氏（群馬大学共同教育学部  
大学院教育研究科客員教授）

### 6. 講演

#### ①講義「視聴覚教育メディア総論」

「視聴覚メディアとは」という最初の問いか  
けで始まり、法令上の位置づけ、視聴覚教育の  
歴史や今後の展望、教育メディアの利用や管理  
運用、視聴覚ライブラリー・視聴覚センターの  
役割（センター見学も実施）について、幅広い  
内容の講義を頂きました。



講義の様子



映写操作の説明

②講義「情報モラル・著作権・セキュリティ」  
 社会教育を進める上で必要となる知識を教  
 えて頂きました。特に、著作権については、公  
 民館や学校での具体例を挙げて、著作権内の  
 使い方や違法な例を教えて頂きました。現代  
 的な課題と併せて講義を頂きました。

③講義・実習「16 ミリ映写操作技術認定講座」  
 講師に 16 ミリ映写機を実際に操作して頂  
 きながら、操作方法と各部の名称を説明して  
 頂きました。操作方法を学んだ後、受講者はグ  
 ループに分かれ、実際の映写機操作の実習を行  
 いました。全員が映写機に触れ、操作を実践す  
 ることができました。最後に、フィルムが切れて  
 しまった際の対処方法として、テープスプライ

サーを用いた補修方法を学び、全員が実習を終  
 えました。

#### 7. 所感

立見講師には、本事業に限らず毎年多大な支  
 援をいただいています。今回は「視聴覚メデ  
 ィア総論」と「16 ミリ映写操作技術認定講座」  
 の講師として、16 ミリ映写機の良さや新たな  
 メディアの可能性など、大変深い見識に基づい  
 た講義をしていただきました。

受講者からは、「10 月に 16 ミリ映画会を  
 開催する予定なので、今日の講習がとても役に  
 たった」、「業務に役立つ知識を楽しく学ぶこ  
 とができました」など、高い評価をいただきま  
 した。

### ▽令和3年度の廃棄・移管届けの提出総数の内訳について

平成 23 年度より、視聴覚ライブラリー所  
 有の視聴覚教材を廃棄や移管する場合に権利  
 者団体に通知することとなり、今年度で 12  
 年目を迎えました。

昨年度 1 年間に 17 の視聴覚センター・ラ  
 イブラリーより廃棄・移管届けが当連盟に提  
 出され、その内訳は次の通りです。

#### <廃棄届け>

- ・16 ミリ 4,027 本
- ・ビデオ 6,241 本
- ・DVD/LD 37 本

#### <移管届け>

- ・16 ミリ 522 本
- ・ビデオ 1 本
- ・DVD 1,097 本

廃棄届					
		16ミリ	ビデオ	DVD	LD
1	Aセンター		3261		
2	Bセンター	23	32	1	
3	Cセンター	11			
4	DAVL	9			
5	Eセンター	1		1	
6	Fセンター		13		
7	GAVL	3297			
8	Hセンター		5		
9	I AVL	214	1256		33
10	J AVL	4			
11	K市AVL	148			
12	L AVL	15			
13	MAVL		12	2	
14	Nセンター	290	1100		
15	O AVL		562		
16	PAVL	2			
17	Q AVL	13			
		4027	6241	4	33
移管届					
1	DAVL	20	1	51	
2	Nセンター	502		1046	
		522	1	1097	

## ▽首長協議会 「GIGA スクール対応オンライン研修会」8/29 開催

全国 ICT 教育首長協議会（会長・横尾俊彦（佐賀県多久市長））では、「GIGA スクール対応オンライン研修会」を8月29日（月）に実施します。文部科学省、総務省、経済産業省、デジタル庁等の施策、各自治体の取組、有識者の講演をオンラインで配信いたします。

▽開催日時：2022年8月29日（月）  
15:00～17:00

▽開催形式：ウェビナー（要事前登録）

▽研修対象：自治体関係者、教育委員会関係者（協議会に入会していない自治体でも参加できます。）

▽参加費用：協議会員（各自治体5アドレスまで無料）、非会員（1アドレス：1,000円（税込））

▽募集人数：定員300名（先着順）

▽申込方法：次のHPからお申し込みください

<https://www.ictmayors.jp/>

▽内容

- スペシャル講演  
文部科学省大臣官房審議官（初等中等教育担当）安彦広斉氏  
『GIGA スクール構想とその先にある未来の教育』
- 有識者講演  
放送大学教授博士（情報学）中川一史氏  
『GIGA 端末を活用した、主体的対話的で深い学びの実現』
- 首長インタビュー  
全国ICT教育首長協議会長（佐賀県多久市長）横尾俊彦氏  
『GIGA スクール構想の「今」と「これから」』
- GIGA 実践発表  
つくば市教育委員会情報教育担当指導主事 中村めぐみ氏  
『教えから学びへ転換するための GIGA 端末の活用』

\ GIGAスクールで子どもたちの輝く未来を /  
主催：全国ICT教育首長協議会

---

### GIGAスクール対応オンライン研修会

---

2022.8.29（月）15:00 - 17:00

---

★スペシャル講演★ 15:05～15:35  
文部科学省 大臣官房審議官（初等中等教育担当）安彦 広 斉 氏  
『GIGAスクール構想とその先にある未来の教育』  
（略歴）昭和43年山形県鮎川村生まれ。平成7年文部省入省。令和3年初等中等教育局 修学支援・教材課長（併）デジタル庁統括官付参事官。令和4年総合教育政策局社会教育振興統括官。教育の情報化や人事に従事。GIGAスクール構想におけるICT基盤整備、教材整備指針の策定を担当。

★ 有識者講演 ★ 16:30～17:00  
放送大学教授 博士（情報学） 中川 一 史 氏  
『GIGA端末を活用した、主体的対話的で深い学びの実現』  
（略歴）日本STEM教育学会副会長。中央教育審議会初等中等教育分科会「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた学校教育の在り方に関する特別部会」（委員）、文部科学省委託「デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業」有識者会議（主査）などを歴任。

★首長インタビュー★ 15:40～16:00  
全国ICT教育首長協議会長（佐賀県多久市長）横尾 俊彦 氏  
『GIGAスクール構想の「今」と「これから」』

★GIGA実践発表★ 16:05～16:25  
つくば市教育委員会 情報教育担当指導主事 中村 めぐみ 氏  
『教えから学びへ転換するためのGIGA端末の活用』

★先進ICT教育機器紹介★ これからの創造的な学校づくりやGIGAスクール構想実現、先進的ICT教育のために必要な機器を紹介

【参加費】 協議会員（各自治体5アドレスまで無料）、非会員（1アドレス1000円）  
※入会希望の方は、全国ICT教育首長協議会 [info@ictmayors.jp](mailto:info@ictmayors.jp) まで。  
【参加方法】ウェビナーですので、メールの事前登録が必要です。  
-右のQRコード又は、全国ICT教育首長協議会ホームページから入力してください。

【募集人数】自治体関係者、教育委員会関係者、定員300名先着順  
【次回予定】第2回9月29日、第3回10月31日

【全国ICT教育首長協議会】  
平成28年に設立した、ICT教育を推進する全国約130自治体の首長で構成する協議会。これまで、歴代文科大臣にICT教育整備予算の増額や児童生徒1人1台端末整備などの提言や優れたICT教育の実践を表彰する日本ICT教育アワードをおこなってまいりました。  
ぜひ、子どもたちの明るい未来のために一緒に活動しませんか。

（問い合わせ先）〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-10-11  
虎ノ門PFビル（一軒）日本経済教育協会内  
全国ICT教育首長協議会事務局  
TEL: 03-3431-2186 E-mail: [info@ictmayors.jp](mailto:info@ictmayors.jp)

  
  
全国ICT教育首長サミット

[https://www.ictmayors.jp/wp/1st\\_ow\\_form/](https://www.ictmayors.jp/wp/1st_ow_form/)（申込ページ）

[https://www.ictmayors.jp/files/pamphlet/1st\\_ow\\_202208.pdf](https://www.ictmayors.jp/files/pamphlet/1st_ow_202208.pdf)（チラシページ）

---

## ▽えすけーぷ

先日、アリス・ギイという女性映画監督であり、制作者、脚本家を紹介する記事を見ました。そこでは、「ギイは、映画『キャベツ畑の妖精』『キリストの誕生』など1000作品以上を手がけた監督・製作・脚本家であり、リュミエール兄弟やジョルジュ・メリエスと並ぶ映画のパイオニアであり、ハリウッドの映画製作システムの原型を作り上げた世界初の女性映画監督。クローズアップ、特殊効果、カラー映画、音の同期など、現在の標準的な映画製作技法を次々と生み出した人物でもある。」と紹介されていました。

([https://www.tokyoartbeat.com/articles/-/Alice\\_Guy\\_Movie?utm\\_source=portfolio\\_mylist](https://www.tokyoartbeat.com/articles/-/Alice_Guy_Movie?utm_source=portfolio_mylist))

この記事は、これだけの功績を残した映画人がなぜ忘れ去られていたのかを探るドキュメンタリー映画『映画はアリスから始まった』（監督：パメラ・B・グリーン、製作：ロバート・レッドフォードほか、ナレーション：ジョディ・フォスター）の上映を紹介する記事でした。

映画の創成期に貢献した人物として、リュミエール兄弟やジョルジュ・メリエスの名前は目にすることも多いのですが、アリス・ギイの名前は知らなかったため、驚きをもってこの記事を見ました。

物語映画を最初に作った映画監督のひとりであるとか、初期のトーキーやカラー映画を手がけ、特殊効果や現代的な映画演技法を採り入れたということを知ると、忘れ去られていたことが本当に不思議に思われます。

2018年にアメリカで制作された『映画はアリスから始まった』は、7月に東京・吉祥寺で上映されていましたが、残念ながら行くことができませんでした。しかし、8月末に横浜でも上映されるということなので、行ってみようと思っています。

制作ではありませんが、映像に関わるものとして、先人が映画にどのように向き合ってきたのか、知ることは大事なことだと思います。上映が限られているので見るのが難しいかと思いますが、どんな映画人であったかを是非ネットで調べてみてはいかがでしょうか。(T.M)

---

全国視聴覚教育連盟

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-10-11 虎ノ門PFビル

TEL: 03-3431-2186 / Fax: 03-3431-2192

HP: <http://www.zenshi.jp/>

Mail: [info@zenshi.jp](mailto:info@zenshi.jp)

---

大会  
テーマ

未来社会に向けて 生涯にわたる学びを支えるメディア活用

合同  
大会

令和4年度

第26回視聴覚教育総合全国大会

第73回放送教育研究会全国大会

決定！

令和4年 11月12日(土)

時間も場所も  
参加者のスタイルに合わせて  
自由自在！

オンライン開催

ワークショップ  
セミナー

スペシャルな講師陣による  
最新のネタ・コアなネタを準備！  
参加型・聴講型も選択可能！

AM

実践  
発表

令和4年も全国各地から最新の優れた  
実践事例を紹介！明日の授業に使えるネタ満載

PM

当初の予定より変更が生じております。

午前・午後の内容が入れ替わりましたので、ご注意ください。(R4.5.23)

主催：

全国放送教育研究会連盟 NHK

視聴覚教育総合全国大会連絡協議会

(日本学校視聴覚教育連盟 全国高等学校メディア教育研究協議会 全国視聴覚教育連盟 一般財団法人日本視聴覚教育協会)

【問い合わせ先】

■全国放送教育研究会連盟事務局 <http://www.zenporen.jp/>

〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1 NHKメディア総局展開センター内

TEL. 03-5455-4310 FAX. 03-3481-1372

■一般財団法人 日本視聴覚教育協会 <http://www.javea.or.jp/soutai/>

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-10-11虎ノ門Pビル

TEL. 03-3431-2186 FAX. 03-3431-2192

↓大会の最新情報はこちら↓



<http://www.zenporen.jp/> <http://www.javea.or.jp/>

# 東映 教育ソフト Line-up!

## 社会・道徳・特別活動

### 自分ごととSDGs

SDGsに取り組んでいる人たちのインタビューを見て、身の回りにある身近なものからSDGsについての考えを深めていきます。SDGsの基礎知識を学ぶだけでなく、SDGsを自分ごととして捉え、行動していくきっかけとなる教材です。



【指導案】「ワークシート」あり

(22分) 72,600円(税込)  
学校特別価格 36,300円(税込)

## 道徳・特別活動

### 性の多様性とLGBTQ+

～誰もが自分らしく生きるために～

「性のあり方」についての基礎知識をわかりやすく解説しながら、典型的でないと言われる性のあり方の人たちへのインタビューを通して、性には様々な形があることや、性的マイノリティを取り巻く実状についても伝えます。



字幕版付き

解説書あり

監修：一般社団法人fair

(28分) 72,600円(税込)  
学校特別価格 36,300円(税込)

## 家庭・保育

### 「映像で学ぶ 幼児の発達と生活シリーズ」全3巻

#### 第1巻 幼児の心身の発達(24分)

乳幼児の発達がどのような過程で進んでいくのか、体の発達と心の発達、2つの視点で解説します。

#### 第2巻 幼児の生活の特徴と家族の役割(23分)

乳幼児期の子供の生活の特徴と家族の役割について解説します。

#### 第3巻 幼児と遊び(20分)

乳幼児期の子供の姿を見ながら、「遊び」の特徴や意味について解説します。



各巻 72,600円(税込) 3巻セット 198,000円(税込)  
学校特別価格 36,300円(税込) 学校特別価格 99,000円(税込)

## 道徳・特別活動・防犯

### 「スマホは情報モラルが大切」全2巻

#### 第1巻 ネットいじめをしない! SNSでの出会いに気をつけよう!(25分)

#### 第2巻 もう一度よく考えよう! 写真や動画の投稿(18分)

1巻で「ネットいじめ」「SNSでの出会い」、2巻で「個人情報流出」「炎上」をテーマとして取り上げ、それぞれドラマ編と解説編で構成しています。スマホを使ってSNSを利用するには、情報モラルを身につけ、よく考えた上でメッセージや写真や動画を投稿することが何よりも大切であることを伝えます。

各巻 72,600円(税込) 2巻セット 132,000円(税込)  
学校特別価格 36,300円(税込) 学校特別価格 66,000円(税込)



お問い合わせ・チラシ請求は

☎ 03 (3535) 3631 FAX03 (3535) 3632



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

予告編  
配信中

<https://www.toei.co.jp/edu/>

教育映像

検索

●学校向け特別価格もございますので、お気軽にお問い合わせください。

<http://www.toei.co.jp/edu/>